

参考資料

和歌山県紀の川市

令和7年度当初予算の概要

【財政資料編】



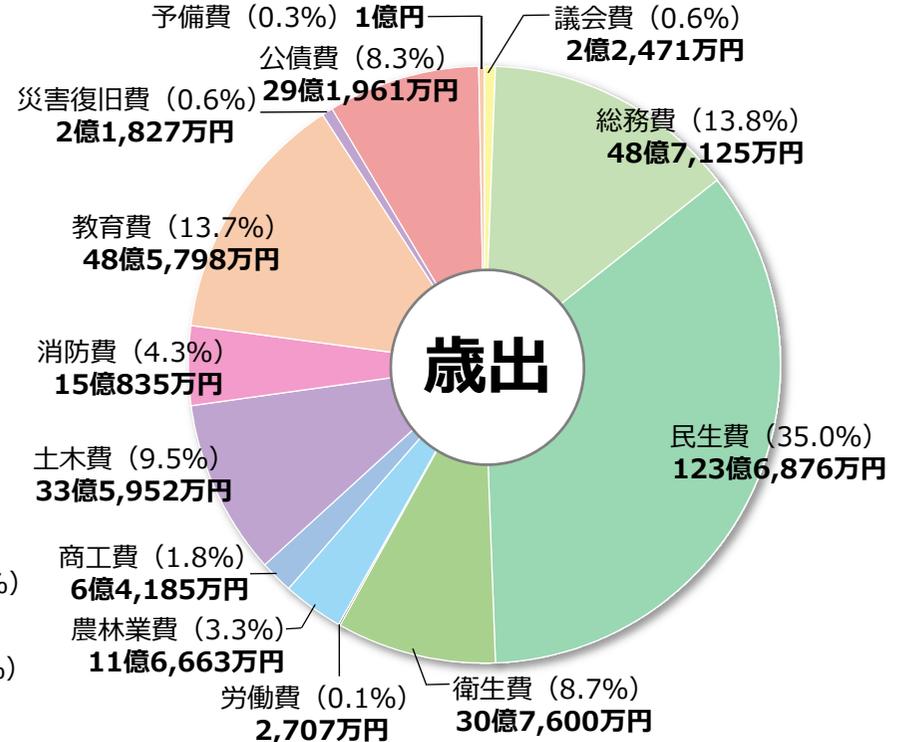
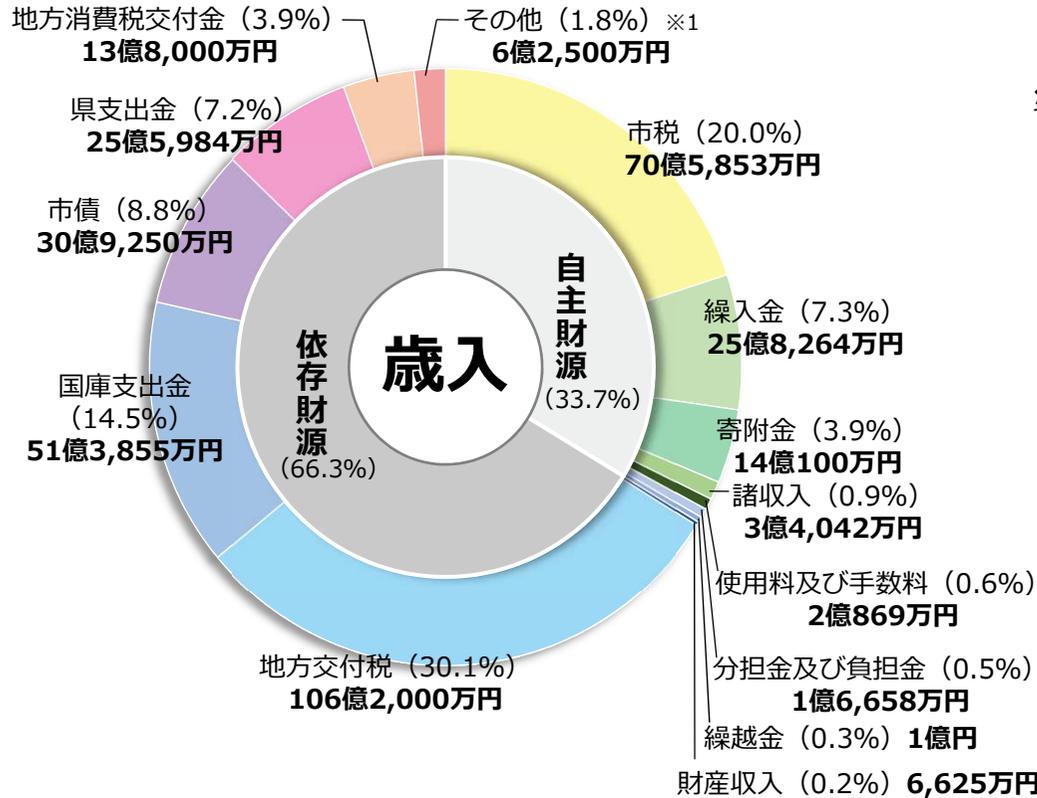
笑顔で
歩んだ20年
輝く未来へ
紀の川市

目次

令和7年度一般会計当初予算額	P. 1
一般会計当初予算額の推移	P. 2
令和7年度一般会計・特別会計・公営企業会計当初予算状況	P. 3
令和7年度一般会計当初予算状況	P. 4
歳入	P. 4
歳入（自主財源・依存財源）（市税の内訳）	P. 5
歳出（目的別）	P. 6
歳出（性質別）	P. 7
歳出（義務的経費・投資的経費・その他の経費）	P. 8
基金の状況	P. 8
地方債の状況	P. 8
令和7年度一般会計当初予算の主な事業（新規・拡充など）	P. 9
令和7年度基金の状況	P. 10
令和7年度紀の川市予算編成方針	P. 11

令和7年度一般会計当初予算額

※表示金額は、万円未満を四捨五入しています
 ※予算総額に占める割合は、合計100%になるように表示しています



義務的経費	20.5	扶助費	72億4,177万円
	15.9	人件費	56億 821万円
	8.2	公債費	29億1,961万円
投資的経費	15.3	普通建設事業費等	54億 952万円
	16.2	物件費	57億2,278万円
その他の経費	12.3	補助費等	43億5,000万円
	9.0	繰出金	31億7,917万円
	2.6	その他※2	9億 894万円

※1…その他（地方譲与税・利子割交付金・配当割交付金・株式等譲渡所得割交付金・法人事業税交付金・ゴルフ場利用税交付金・環境性能割交付金・地方特例交付金・交通安全対策特別交付金）
 ※2…その他（維持補修費・積立金・投資及び出資金・予備費）

一般会計

353億4千万円

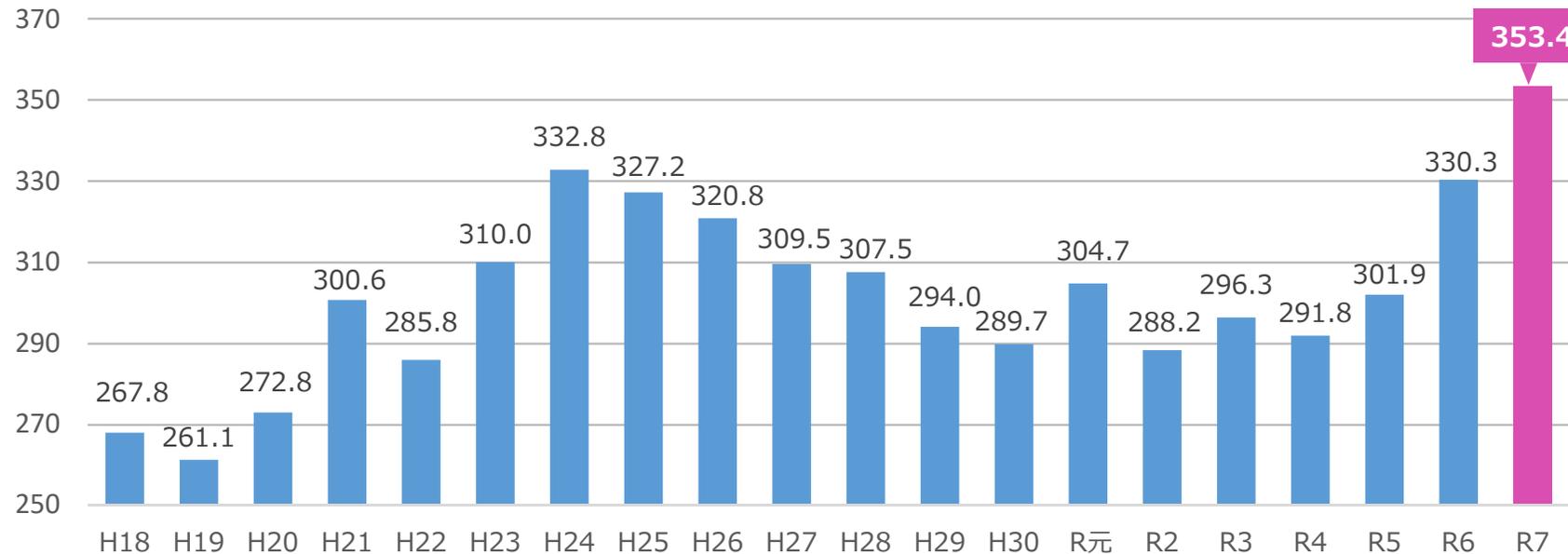
前年度比 **23億1千万円(7.0%)増**

一般会計当初予算額の推移（対前年度増減額、対前年度増減率）

（単位：千円、％）

年 度 別	当初予算額	対前年度増減額	対前年度増減率
令和7年度	35,340,000	2,310,000	7.0
令和6年度	33,030,000	2,840,000	9.4
令和5年度	30,190,000	1,010,000	3.5
令和4年度	29,180,000	△ 450,000	△ 1.5
令和3年度	29,630,000	810,000	2.8
令和2年度	28,820,000	△ 1,650,000	△ 5.4
令和元年度	30,470,000	1,500,000	5.2
平成30年度	28,970,000	△ 430,000	△ 1.5
平成29年度	29,400,000	△ 1,350,000	△ 4.4
平成28年度	30,750,000	△ 200,000	△ 0.6

（単位：億円）



令和7年度一般会計・特別会計・公営企業会計当初予算状況

(単位:千円、%)

会 計 名		令和7年度	令和6年度	増減額	増減率	主 な 増 減 内 容
一 般 会 計		35,340,000	33,030,000	2,310,000	7.0	(P.4~P.8のとおり)
土 地 取 得 事 業 特 別 会 計		900	9,800	△ 8,900	△ 90.8	土地売却による基金積立金の減
国 民 健 康 保 険 事 業 勘 定 特 別 会 計		7,591,000	7,757,000	△ 166,000	△ 2.1	被保険者数の減少による給付費の減
国 民 健 康 保 険 直 営 診 療 施 設 勘 定 特 別 会 計		106,100	123,000	△ 16,900	△ 13.7	診療施設新築による建築工事費の減
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計		2,068,000	2,004,000	64,000	3.2	後期高齢者の増加による後期高齢者医療広域連合納付金の増
介 護 保 険 事 業 勘 定 特 別 会 計		7,541,000	7,506,000	35,000	0.5	要介護度の重度化による介護サービス給付費の増
財 産 区 特 別 会 計		15,400	15,000	400	2.7	最上、神田、市場、元財産区、調月財産区 管理委員研修実施による研修手配業務委託料の増
特 別 会 計 合 計		17,322,400	17,414,800	△ 92,400	△ 0.5	
水 道 事 業 会 計	収 益 的 収 入	1,600,286	1,649,434	△ 49,148	△ 3.0	受託工事収益の減
	収 益 的 支 出	1,501,760	1,549,971	△ 48,211	△ 3.1	受託工事費の減
	資 本 的 収 入	509,181	424,620	84,561	19.9	企業債の増
	資 本 的 支 出	1,101,695	989,886	111,809	11.3	建設改良費の増
工 業 用 水 道 事 業 会 計	収 益 的 収 入	47,097	46,946	151	0.3	預金利息の増
	収 益 的 支 出	37,698	36,951	747	2.0	修繕費の増
	資 本 的 収 入	2	28,102	△ 28,100	△ 100.0	企業債の減
	資 本 的 支 出	16,002	43,345	△ 27,343	△ 63.1	建設改良費の減
下 水 道 事 業 会 計	収 益 的 収 入	805,957	797,819	8,138	1.0	有収水量の増加による下水道使用料の増、県補助金の増
	収 益 的 支 出	806,331	801,488	4,843	0.6	減価償却費の増
	資 本 的 収 入	1,671,386	1,722,550	△ 51,164	△ 3.0	国庫補助金の減
	資 本 的 支 出	1,985,817	2,022,498	△ 36,681	△ 1.8	建設改良費の減
公 営 企 業 会 計(支 出)合 計		5,449,303	5,444,139	5,164	0.1	
全 会 計 合 計		58,111,703	55,888,939	2,222,764	4.0	

令和7年度一般会計当初予算状況

歳入

(単位:千円、%)

(R6→R7、増減〔+ : 増額、△ : 減額、±0 : 同額〕、単位:千円)

区分	令和7年度	構成比	令和6年度	構成比	増減額	増減率	主な増減内容
市 税	7,058,525	20.0	6,645,747	20.1	412,778	6.2	(P.5のとおり)
地方譲与税	303,000	0.9	310,000	0.9	△ 7,000	△ 2.3	自動車重量譲与税額の減少による減
利子割交付金	3,000	0.0	3,000	0.0	0	0.0	利子課税額による
配当割交付金	53,000	0.1	50,000	0.2	3,000	6.0	配当課税額の増加による増
株式等譲渡所得割交付金	50,000	0.1	43,000	0.1	7,000	16.3	株式等譲渡所得課税額の増加による増
法人事業税交付金	82,000	0.2	79,000	0.2	3,000	3.8	法人事業税額の増加による増
地方消費税交付金	1,380,000	3.9	1,362,000	4.1	18,000	1.3	消費税額・地方消費税額の増加による増 (使途)消費税率の引き上げ分:社会保障施策の社会福祉、社会保険、保健衛生事業
ゴルフ場利用税交付金	23,000	0.1	24,000	0.1	△ 1,000	△ 4.2	ゴルフ場利用税収入の減少による減
環境性能割交付金	44,000	0.1	38,000	0.1	6,000	15.8	自動車税環境性能割税収入の増加による増
地方特例交付金	63,000	0.2	301,000	0.9	△ 238,000	△ 79.1	定額減税減収補填特例交付金の減
地方交付税	10,620,000	30.1	10,370,000	31.4	250,000	2.4	普通交付税の増 9,400,000→9,580,000 +180,000 特別交付税の増 970,000→1,040,000 +70,000
交通安全対策特別交付金	4,000	0.0	4,000	0.0	0	0.0	交通反則金収入による
分担金及び負担金	166,580	0.5	150,260	0.5	16,320	10.9	学校給食費(現年分)の増 24,931→42,740 +17,809 保育所保育料(現年分)の増 45,116→50,595 +5,479
使用料及び手数料	208,695	0.6	213,647	0.6	△ 4,952	△ 2.3	住民基本台帳手数料の減 5,520→4,100 △1,420
国庫支出金	5,138,544	14.5	3,781,760	11.5	1,356,784	35.9	児童手当負担金の増 621,799→939,253 +317,454 社会資本整備総合交付金の増 134,010→324,097 +190,087 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増 0→177,630 +177,630
県支出金	2,559,843	7.2	2,366,541	7.2	193,302	8.2	公立学校給食費無償化事業補助金の増 0→99,576 +99,576 障害者自立支援給付費負担金の増 404,784→455,210 +50,426 防災重点農業用ため池緊急整備事業補助金の減 65,408→33,049 △32,359
財産収入	66,248	0.2	52,589	0.2	13,659	26.0	減債基金預金利子の増 967→4,600 +3,633 財政調整基金預金利子の増 1,153→4,564 +3,411
寄附金	1,401,002	4.0	1,902,002	5.8	△ 501,000	△ 26.3	ふるさとまちづくり寄附金の減 1,902,000→1,401,000 △501,000
繰入金	2,582,643	7.3	1,947,069	5.9	635,574	32.6	減債基金繰入金の増 400,000→700,000 +300,000 地域振興基金繰入金の増 200,000→305,000 +105,000 靱瀨山林財産区繰入金の減 2,761→0 △2,761
繰越金	100,000	0.3	100,000	0.3	0	0.0	前年度繰越金 100,000→100,000 ±0
諸収入	340,420	1.0	345,085	1.0	△ 4,665	△ 1.4	北勢田工業団地専用排水管移設補償金の減 50,900→36,900 △14,000
市債	3,092,500	8.7	2,941,300	8.9	151,200	5.1	市営住宅整備事業債の増 69,200→278,200 +209,000 田中小学校整備事業債の増 957,000→1,092,700 +135,700 庁舎整備事業債の減 107,200→0 △107,200
歳入合計	35,340,000	100.0	33,030,000	100.0	2,310,000	7.0	

歳入(自主財源・依存財源)

(単位:千円、%)

区分	令和7年度	構成比	令和6年度	構成比	増減額	増減率	財源内訳
自主財源	11,924,113	33.7	11,356,399	34.4	567,714	5.0	市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入
依存財源	23,415,887	66.3	21,673,601	65.6	1,742,286	8.0	地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、環境性能割交付金、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金、国庫支出金、県支出金、市債
歳入合計	35,340,000	100.0	33,030,000	100.0	2,310,000	7.0	

歳入(市税の内訳)

(単位:千円、%)

区分	令和7年度	構成比	令和6年度	構成比	増減額	増減率	主な増減内容
市民税	2,908,300	41.2	2,604,200	39.2	304,100	11.7	
個人	2,587,000	36.7	2,283,500	34.4	303,500	13.3	所等割における定額減税の減収の回復に伴う増
法人	321,300	4.5	320,700	4.8	600	0.2	小規模法人の増加による増
固定資産税	3,129,725	44.3	3,010,057	45.3	119,668	4.0	
固定資産税	3,124,300	44.2	3,004,400	45.2	119,900	4.0	家屋の新増築の増加による増
国有資産等所在市町村交付金	5,425	0.1	5,657	0.1	△ 232	△ 4.1	対象物件の減少に伴う減
軽自動車税	315,600	4.5	308,200	4.6	7,400	2.4	
環境性能割	27,000	0.4	29,000	0.4	△ 2,000	△ 6.9	県収入見込額の減少に伴う減
種別割	288,600	4.1	279,200	4.2	9,400	3.4	旧税率(平成26年度以前の新規登録)適用車が減少し、新税率適用車が増加していることによる増
たばこ税	350,000	5.0	380,000	5.7	△ 30,000	△ 7.9	販売本数の減少による減
入湯税	0	0.0	90	0.0	△ 90	△ 100.0	条例改正に伴い、令和6年4月1日以降の日帰り入湯客の課税免除額引き上げによる減
都市計画税	354,900	5.0	343,200	5.2	11,700	3.4	固定資産税に準ずる(使途)都市計画施策の公園、下水道、区画整理事業
市税合計	7,058,525	100.0	6,645,747	100.0	412,778	6.2	

歳 出(目的別)

(単位:千円、%)

(R6→R7、増減[+:増額、△:減額、±0:同額]、単位:千円)

区 分	令和7年度	構成比	令和6年度	構成比	増減額	増減率	主な増減内容
議 会 費	224,713	0.6	213,069	0.6	11,644	5.5	議員報酬・議員期末手当の増 125,721→129,485 +3,764
総 務 費	4,871,247	13.8	4,904,518	14.9	△ 33,271	△ 0.7	ふるさとまちづくり寄附金事業費の減 1,047,377→776,601 △270,776 庁舎管理事業費の減 350,155→217,512 △132,643 鞆淵地区公共施設等再編事業費の減 197,182→100,197 △96,985 電算システム管理運営事業費の増 139,961→218,607 +78,646
民 生 費	12,368,763	35.0	11,576,549	35.1	792,214	6.8	児童手当給付事業費の増 905,436→1,164,397 +258,961 障害福祉サービス等給付事業費の増 1,727,462→1,924,196 +196,734 障害児通所給付事業費の増 503,611→589,701 +86,090 隣保館運営事業費の減 48,588→14,747 △33,841
衛 生 費	3,075,998	8.7	2,983,453	9.0	92,545	3.1	感染症対策事業費の増 194,326→349,511 +155,185 紀の海広域施設組合事業費の増 381,950→402,017 +20,067 し尿処理事業費の増 21,581→39,429 +17,848 水道事業出資金の減 175,868→109,597 △66,271
労 働 費	27,070	0.1	27,975	0.1	△ 905	△ 3.2	働き方改革推進支援事業費の減 937→312 △625
農 林 業 費	1,166,632	3.3	1,171,199	3.5	△ 4,567	△ 0.4	国営総合農地防災事業費の減 73,853→28,995 △44,858 防災重点農業用ため池緊急整備事業費の減 72,350→45,285 △27,065 小規模土地改良事業費の減 32,673→13,138 △19,535 県営紀の川フルーツライン整備事業費の増 4,452→22,260 +17,808
商 工 費	641,853	1.8	524,897	1.6	116,956	22.3	商工振興事業費の増 91,958→264,257 +172,299 企業誘致促進事業費の増 33,835→57,886 +24,051 北勢田工業団地専用排水管移設事業費の減 50,900→30 △50,870
土 木 費	3,359,521	9.5	2,588,577	7.8	770,944	29.8	市営住宅整備事業費の増 138,471→563,438 +424,967 市道等維持修繕事業費の増 214,828→385,086 +170,258 主要幹線道路整備事業費の増 37,808→179,522 +141,714 市営住宅改修事業費の減 108,191→59,091 △49,100
消 防 費	1,508,347	4.3	1,319,932	4.0	188,415	14.3	消防施設整備事業費の増 83,504→174,478 +90,974 那賀消防組合事業費の増 690,237→780,813 +90,576 危機管理対策事業費の減 90,520→47,984 △42,536
教 育 費	4,857,983	13.7	4,700,016	14.2	157,967	3.4	田中小学校改築事業費の増 1,294,833→1,673,811 +378,978 公民館管理運営事業費の増 140,530→212,702 +72,172 旧名手宿本陣整備事業費の増 11,338→44,837 +33,499 中学校施設長寿命化事業費の減 144,243→10,613 △133,630
災 害 復 旧 費	218,267	0.6	53,332	0.2	164,935	309.3	土木施設災害復旧事業費の増 50,796→218,251 +167,455 農業用施設災害復旧事業費の減 2,526→6 △2,520
公 債 費	2,919,606	8.3	2,866,483	8.7	53,123	1.9	長期償還元金の増 2,769,811→2,809,280 +39,469 長期償還利子の増 95,672→109,326 +13,654
予 備 費	100,000	0.3	100,000	0.3	0	0.0	予備費 100,000→100,000 ±0
歳 出 合 計	35,340,000	100.0	33,030,000	100.0	2,310,000	7.0	

歳出(性質別)

(単位:千円、%)

(R6→R7、増減[+:増額、△:減額、±0:同額]、単位:千円)

区分	令和7年度	構成比	令和6年度	構成比	増減額	増減率	主な増減内容
人件費	5,608,209	15.9	5,196,909	15.7	411,300	7.9	会計年度任用職員報酬の増 746,201→843,898 +97,697 総合事務組合負担金(退職手当特別負担金)の増 93,458→185,090 +91,632 議員共済会負担金の減 25,576→23,502 △2,074
物件費	5,722,786	16.2	5,555,055	16.8	167,731	3.0	予防接種委託料の増 179,768→334,425 +154,657 電算システム更新事業基幹系システム構築委託料の増 32,032→112,808 +80,776 水防事業施設・器具修繕料の増 18,268→74,632 +56,364 ふるさとまちづくり寄附金特産品等贈呈委託料の減 949,400→699,400 △250,000
維持補修費	129,568	0.4	146,593	0.5	△ 17,025	△ 11.6	保育所運営管理事業施設・器具修繕料の減 14,164→11,092 △3,072 公民館管理運営事業施設・器具修繕料の減 5,942→2,926 △3,016
扶助費	7,241,769	20.5	6,610,112	20.0	631,657	9.6	児童手当費の増 901,200→1,164,000 +262,800 障害福祉サービス給付費の増 1,693,488→1,887,881 +194,393 障害児通所給付費の増 502,288→588,162 +85,874 子ども医療費の減 273,331→247,259 △26,072
補助費等	4,350,006	12.3	4,003,946	12.1	346,060	8.6	こども未来応援デジタル商品券事業交付金の増 0→85,000 +85,000 那賀消防組合負担金の増 690,237→758,042 +67,805 デジタル商品券事業交付金の増 0→45,000 +45,000 文化財等保存整備事業補助金の減 11,314→1,412 △9,902
普通建設事業費	5,191,250	14.7	4,565,410	13.8	625,840	13.7	市営住宅整備事業費の増 138,471→563,438 +424,967 田中小学校改築事業費の増 1,294,833→1,673,811 +378,978 市道等維持修繕事業費の増 139,500→306,228 +166,728 庁舎管理事業費の減 149,104→5,073 △144,031
災害復旧事業費	218,267	0.6	53,332	0.2	164,935	309.3	土木施設災害復旧事業費の増 50,796→218,251 +167,455
公債費	2,919,606	8.2	2,866,483	8.7	53,123	1.9	長期償還元金の増 2,769,811→2,809,280 +39,469 長期償還利子の増 95,672→109,326 +13,654
積立金	30,443	0.1	115,928	0.4	△ 85,485	△ 73.7	公共施設等整備基金積立金の減 100,674→3,039 △97,635
投資及び出資金	648,925	1.8	730,690	2.2	△ 81,765	△ 11.2	水道事業会計出資金の減 175,868→109,597 △66,271 下水道事業会計出資金の減 554,821→539,327 △15,494
繰出金	3,179,171	9.0	3,085,542	9.3	93,629	3.0	国民健康保険直営診療施設勘定特別会計繰出金の増 19,932→57,668 +37,736 国民健康保険事業勘定特別会計繰出金の増 516,129→547,809 +31,680 介護保険事業勘定特別会計繰出金の減 1,154,206→1,153,333 △873
予備費	100,000	0.3	100,000	0.3	0	0.0	予備費 100,000→100,000 ±0
歳出合計	35,340,000	100.0	33,030,000	100.0	2,310,000	7.0	

歳出(義務的経費・投資的経費・その他の経費) (単位:千円、%)

区分	令和7年度	構成比	令和6年度	構成比	増減額	増減率	経費内訳
義務的経費	15,769,584	44.6	14,673,504	44.4	1,096,080	7.5	人件費、扶助費、公債費
投資的経費	5,409,517	15.3	4,618,742	14.0	790,775	17.1	普通建設事業費、災害復旧事業費
その他の経費	14,160,899	40.1	13,737,754	41.6	423,145	3.1	物件費、維持補修費、補助費等、積立金、投資及び出資金、繰出金、予備費
歳出合計	35,340,000	100.0	33,030,000	100.0	2,310,000	7.0	

基金の状況

(単位:千円)

基金別	令和6年度末現在高見込額	令和7年度中取崩見込額	令和7年度中積立見込額	令和7年度末現在高見込額
財政調整基金	6,050,227	1,159,000	15,674	4,906,901
減債基金	3,269,441	700,000	7,591	2,577,032
特定目的基金	4,538,117	722,000	7,178	3,823,295
合計	13,857,785	2,581,000	30,443	11,307,228

地方債の状況

(単位:千円)

令和5年度末現在高	令和6年度末現在高見込額	令和7年度中起債見込額	令和7年度中元金償還見込額	令和7年度末現在高見込額
23,245,701	23,532,787	3,092,500	2,809,280	23,816,007

令和7年度一般会計当初予算の主な事業(新規・拡充など)

(単位:千円)

款項目	事業名	事業内容	予算額	
1	2-1-7	施策計画管理事業	ドローン実証実験(官民連携により災害時を想定した利活用を中心とした実証実験を実施)	8,100
2	2-1-11	移住・定住推進事業	シティプロモーション事業委託(紀の川市の歴史に焦点を当てた冊子の製作、20年後に郷土料理となるような名物料理の開発)	3,850
3	2-1-12	パークアンドライド推進事業	紀伊長田駅自転車駐車場・(仮称)粉河駅第3自転車駐車場施設整備工事、設計監理	31,051
4	2-1-12	バス運行支援事業	紀の川デマンド乗合交通管理運営委託等(AIオンデマンド交通を河南地域に導入)	75,483
5	2-1-17	合併20周年記念式典等開催事業	記念式典の開催、春巡業大相撲紀の川場所の開催にあわせ実施される地域のにぎわい創出イベントに対する補助金	3,902
6	2-3-1	コンビニ証明書交付事業	コンビニ交付サービスで発行する各種証明書の発行手数料を一律10円に減額	15,756
7	3-1-10	介護予防・高齢者自立支援事業	認知症VR体験講座委託(VRで認知症の人の視点を体験し、認知症への理解を促進)	2,117
8	3-2-1	児童相談・虐待防止事業	子どもの居場所づくり事業委託(子どもの居場所設置を2地区から3地区に拡充)	6,532
9	3-2-6	保育所運営管理事業	英語講師派遣委託(公立保育所で幼児期からの英語教育を実施)	4,180
10	4-1-2	母子健康管理事業	妊産婦等健康診査委託(1か月児健康診査費用を助成)	1,920
11	6-1-2	農業活動事業	クビアカツヤカミキリまん延防止対策補助金(農業代金の一部を補助)	2,150
12	6-1-3	農産物等ブランド推進事業	農産物販売促進負担金(令和8年3月9日をハッサクの日とし、プロモーション活動を展開)	3,120
13	6-1-3	有害獣被害防止対策事業	有害獣被害防止対策事業補助金(補助率を1/3から1/2に、補助上限を15万円から20万円に拡充)	4,000
14	7-1-2	商工振興事業	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業(こども未来応援デジタル商品券、プレミアム付きデジタル商品券の発行)	163,887
15	7-1-3	まつり開催支援事業	市民まつり補助金(合併20周年を記念し、打ち上げ花火数を充実)	14,800
16	7-1-3	観光振興事業	観光プロモーション事業委託(大阪・関西万博を契機とした誘客促進として、オリジナル誘客ツアーの造成・販売、万博会場での紀の川DAY開催、誘客プロモーションの実施。地域資源を活かした交流人口拡大の推進として、演劇「華岡青洲の妻」とのタイアップイベントの実施、桃のスタンプラリー開催)	6,446
17	8-2-1	京奈和関空連絡道路整備促進事業	京奈和関空連絡道路の集い開催委託(道路構想の周知と地域の機運醸成を図るため、フォーラムを開催)	7,344
18	9-1-1	危機管理対策事業	防災訓練支援業務委託(地域防災計画の受援マニュアルに基づき物的受援訓練を実施)	3,773
19	10-1-3	学校教育推進事業	英語講師派遣委託(小学校1～2年生を対象に英語教育を実施)	5,444
20	10-1-3	学校教育総務管理事業	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業(市外の小中学校に通う児童生徒やアレルギー等の影響により給食の提供を受けていない児童生徒を対象に、給食費相当額を補助)	22,903
21	10-2-3	田中小学校改築事業	田中小学校改築にかかる2期工事、監理(新校舎建築及び既存校舎解体撤去)	1,586,358
22	10-3-1	中学校施設長寿命化事業	打田中学校・粉河中学校・那賀中学校照明器具改修工事にかかる設計	6,076
23	10-4-6	図書館運営事業	庁用器具購入費等(河北図書館の機能強化・パワーアップに繋がる整備を実施)	13,240
24	10-4-7	生涯学習施設管理運営事業	打田生涯学習センター高圧受電設備更新工事、粉河ふるさとセンタートイレ改修工事、那賀総合センターエレベーター新設工事、桃山会館玄関ホール空調設備改修工事、貴志川生涯学習センター照明LED化工事、設計監理、監理、調査業務	148,399
25	10-5-3	体育施設管理運営事業	B&G海洋センター解体工事、パークゴルフ場施設内照明器具交換工事、那賀体育館バスケットゴール取替工事、設計監理、設計、調査業務	70,656

※予算額は、主な事業(新規・拡充など)として事業内容欄に記載する関係予算を抜粋して計上しています。

令和7年度 基金の状況

(令和7年度当初予算)

(単位:円)

基金名	令和6年度末 現在高見込額	令和7年度 取崩額	令和7年度 積立額	令和7年度末 現在高見込額
財政調整基金	6,050,227,000	1,159,000,000	15,674,000	4,906,901,000
減債基金	3,269,441,000	700,000,000	7,591,000	2,577,032,000
中山間ふるさと水と土保全対策基金	43,743,000	0	68,000	43,811,000
都市計画事業基金	1,000	0	1,000	2,000
医聖華岡青洲顕彰事業基金	1,989,000	0	4,000	1,993,000
人材育成基金	23,363,000	8,000,000	32,000	15,395,000
地域振興基金	2,034,352,000	305,000,000	3,321,000	1,732,673,000
地域福祉基金	425,376,000	61,000,000	660,000	365,036,000
公共施設等整備基金	1,961,174,000	330,000,000	3,039,000	1,634,213,000
森林環境譲与税基金	48,119,000	18,000,000	53,000	30,172,000
土地開発基金	742,027,018	0	900,000	742,927,018
うち現金	544,855,518	0	900,000	545,755,518
うち土地	197,171,500	0	0	197,171,500
普通会計計	14,599,812,018	2,581,000,000	31,343,000	12,050,155,018
国民健康保険事業運営基金	359,301,000	51,082,000	546,000	308,765,000
介護給付費準備基金	587,303,000	115,000,000	256,000	472,559,000
池田財産区財政調整基金	147,849,000	1,515,000	230,000	146,564,000
田中財産区財政調整基金	66,787,000	1,532,000	84,000	65,339,000
長田竜門財産区財政調整基金	8,743,000	559,000	11,000	8,195,000
竜門財産区財政調整基金	260,000	55,000	1,000	206,000
南北志野財産区財政調整基金	4,014,000	343,000	5,000	3,676,000
飯盛財産区財政調整基金	9,284,000	274,000	12,000	9,022,000
静川財産区財政調整基金	2,790,000	311,000	4,000	2,483,000
最上、神田、市場、元財産区財政調整基金	28,686,000	1,850,000	44,000	26,880,000
調月財産区財政調整基金	28,223,000	1,351,000	43,000	26,915,000
丸栖財産区財政調整基金	21,733,000	14,000	32,000	21,751,000
平池財産区財政調整基金	39,667,000	1,000	60,000	39,726,000
特別会計(普通会計以外)計	1,304,640,000	173,887,000	1,328,000	1,132,081,000
総合計	15,904,452,018	2,754,887,000	32,671,000	13,182,236,018

特別会計

部局長、次長、課長 様

企画部長
(公印省略)

令和 7 年度紀の川市予算編成方針について (通知)

わが国の景気は一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復し、海外経済は総じてみれば緩やかに成長しており、輸出や鉱工業生産は横ばい圏内の動きとなっている。企業収益は改善しており、業況感は良好な水準を維持している。こうしたもとで、設備投資や雇用・所得環境は緩やかに改善しており、個人消費は物価上昇の影響などがみられるものの、底堅く推移している。

このような状況のもと、本市は 1 1 月に合併後 1 9 年を迎え、合併当初 7 0, 4 8 7 人であった人口が令和 6 年 3 月末時点では、5 9, 3 6 2 人と大幅に減少し、高齢化率も 3 4. 0%となり少子高齢化の傾向が顕著になっている。また、令和 3 年 4 月 1 日には、粉河地域、那賀地域、桃山地域が「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」の適用を受け、一部過疎地域に該当している。

歳入面では市税収入の将来の見通しは減少傾向であり、歳出面では社会保障費の伸びや既存施設の長寿命化対策費の増加などが予測される。令和 5 年度の決算では経常収支比率は 9 4. 6%と前年度から 1. 8 ポイント悪化し、傾向として財政構造の硬化化が進んでいる。

また、大型建設事業の実施などにより、過去最大規模の予算となることが見込まれている中、市政の課題に的確に対応するためには、中長期的な視点に立ち、限られた経営資源（ヒト・モノ・カネ）を最大限有効活用することにより、持続可能な財政基盤の確立に向けて健全化を推し進めていくことが不可欠である。

こうした状況を踏まえ、施策評価・事務事業評価に基づいた主要な施策に重点的に経費配分する予算を次の方針により編成する。

1. 基本的な考え方

(1) 長期総合計画の推進

市の将来像「人が行き交い 自然の恵みあふれる 住みよいまち」の実現に向けて、長期総合計画で掲げる政策目標、基本施策を着実に推進していく。

(2) 重点プロジェクトの推進

目標人口6万人を目指すための重点プロジェクトである下記の取組について、特に検討を要するものを全庁挙げての連携により施策横断的に推し進める。

- ① 「呼び込む」プロジェクト
- ② 「稼ぐ」プロジェクト
- ③ 「育む」プロジェクト
- ④ 「未来をつくる」プロジェクト

(3) 年間総合予算による編成

当初予算は、年間の事業計画を作成したうえで、年間総合予算として編成すること。年度途中の補正は、制度改正、災害関係経費等の緊急かつ当初予算で見込むことが困難であり、真にやむを得ない事業に限る。

(4) 予算編成フレームに沿った編成

財政運営の基本は、当該年度の収入により当該年度の支出を賄うことである。したがって、財政調整基金等の取り崩し予定額も含めた、歳入における一般財源総額をあらかじめ設定し、その範囲内で予算編成を行う。

(5) 財源確保の取り組み

財政計画に掲げた基本方針「健全な財政基盤の確立」に向けた歳入の確保と歳出の削減による経常一般財源の確保に向け、行財政改革の推進として、下記の事項について継続的に取り組むこと。

- ① 自主財源の確保
- ② 人件費の抑制
- ③ 施設維持管理コストの抑制
- ④ 自治体DX推進による費用抑制
- ⑤ 補助制度の見直し
- ⑥ 特別会計への繰出金の適正化

(6) 全事業を個別査定

「枠配分」は採用せず、全事業について「個別査定」として編成を行う。なお、各部局は、既存事業についてゼロベースからの見直しを徹底的に行うとともに、事務の効率化など業務改善に努めること。

(7) シーリング方式

シーリング方式は用いない。ただし、財政計画における歳出の削減による経常一般財源の確保を達成するため、前年度予算額のうち特殊要因を除いた範囲を基準として決算見込み及び過去の決算額を踏まえ所要額を積算すること。

2. 総括事項

(1) 歳入

歳入は、経済情勢、国・県等の動向について十分に情報収集を行い、国庫補助金等の削減・廃止などに十分留意するとともに、財源確保のために市税収入の確保や税外収入の確保、新たな収入の獲得などに努めること。

また、合併特例事業債が発行限度額に達し、今後の活用が見込めないことから、より一層財源確保のための取組が必要となることに留意すること。

(2) 歳出

歳出の見積りは、事業の必要性、効率性を厳しく見極め計上すること。

新規・拡充事業は、制度改革等によるものを除き「経営戦略会議において審議され、庁議において承認された事業」のみ要求を認めるものとする。また、施設保全事業は、「公共施設マネジメント検討委員会において審議され、庁議において承認された事業」のみ要求を認めるものとし、統廃合の対象施設については維持にかかる必要最小限の要求とすること。

要求した予算であっても中長期的な財政運営を見込んだ財政収支見通しに基づく予算編成フレーム内での編成を予定していることから、市長指示事項、重点プロジェクトを推進する事業、事業の緊急性、その他の要件を基に優先順位を設定し、予算査定を実施する方針であるため、要求が却下となる可能性があることに留意すること。

なお、既存事業も含め、原則、事業期間を最長3年として終期設定を必ず行うこと。

また、新規・拡充事業の要求に併せて、既存事業について、慣例や経緯にとらわれず、スクラップ・見直しの徹底による大胆な歳出削減に取り組むこと。

(3) 収支

財政収支見通しでは、引き続き収支不足による多額の基金の取り崩しが見込まれるため、持続可能な財政運営に向け、各担当課の創意と工夫により次年度以降も念頭に入れ、既存事業を大胆に見直していくこと。

(4) 特別会計・公営企業会計

一般会計に準じ編成すること。

中長期的な財政収支見通しを念頭におき、既存事業の見直しを行うなど会計の健全化に向けた取り組みにより、将来負担を見据えた事業を計画すること。